

子育て支援の更なる充実に向けて

地域子育て支援拠点事業 新規拠点について

福祉部子ども育成課

地域子育て支援拠点事業とは

1 事業の目的

少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、こどもや子育てをめぐる環境が大きく変化する中で、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、こどもの健やかな育ちを支援することを目的とする、国の補助事業の1つ。

2 事業の内容

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業。
基本事業として以下の4つを全て実施する。

- ア 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- イ 子育て等に関する相談、援助の実施
- ウ 地域の子育て関連情報の提供
- エ 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施（月1回以上）

3 事業の実施方法

一般型	連携型
公共施設の空きスペース、保育所、幼稚園、認定こども園など、子育て親子が集う場として適した場所	既存児童福祉施設・児童福祉事業の遊戯室、相談室等を活用
週3日以上、かつ1日5時間以上開設	週3日以上、かつ1日3時間以上開設
専任の者を2名以上配置	専任の者を1名以上配置 (連携施設に勤務している職員等のバックアップを受けられること)
授乳コーナー、流し台、ベビーベッド、遊具その他乳幼児を連れて利用しても差し支えないような設備を有すること	授乳コーナー、流し台、ベビーベッド、遊具その他乳幼児を連れて利用しても支障が生じないような設備を有すること。

現状：葉山町子育て支援センター「ぽけっと」

1 既存拠点「ぽけっと」の状況

現在、当町唯一の地域子育て支援拠点として「ぽけっと」が一般型（5日型）で運営されています。

- ・ぽけっとは指定管理として運営しており、子育て親子の交流促進や相談支援の場として重要な役割を担っています。
- ・運営形態：一般型（5日型）
- ・4つの基本事業のほか、ファミリーサポートセンター事業、一時預かり事業、保育施設との連携会議の開催等も実施しています。

2 カバーしきれない地域ニーズ

R6ニーズ調査アンケート結果（こども計画策定時）

特に長柄地区において、地域子育て拠点を利用しない理由として「距離が遠い」「駐車場が少ない」という意見が多く寄せられています。

既存拠点「ぽけっと」がカバーしきれない地域における、子育て支援への潜在的なニーズが高いことを示唆。

新規拠点開設の必要性

1 地域からの強い要望と未就学児の偏在

- ・アンケート調査の結果を受けて、葉山町こども計画上では11年度までに長柄地区で新規開設を目指すことを明記しています。
- ・地域からの拠点開設を望む陳情も出ております。
- ・陳情者の話を伺うと、ぽけっとは遠く、また、葉桜児童館は駐車場がなく、行っても誰もおらず交流できない、という意見が挙がっています。
- ・長柄地区の未就学児数は371人と町内最多であり、支援の必要性が高いです。

2 児童館の需要・ニーズの変化

- ・児童館において午前中に乳幼児を対象として親子交流等を目的に実施してきた「遊びの広場」「自由来館」については、少子化やこども誰でも通園制度等がスタートしたことにより参加者が減少。その一方で、学校に行けない児童の「居場所」を求める声が上がっており、児童館の在り方について、そのニーズが変わってきている。
- ・地域子育て支援拠点事業では専門職による相談支援・親子交流・育児不安の軽減など、児童館では提供しきれない機能が求められている。
- ・地域子育て支援拠点事業は保護者同士の交流が生まれやすく、児童館よりも「地域の子育てコミュニティ形成」に寄与する。

新規拠点候補地の検討

前述の必要性から鑑み、長柄地区を最優先としながら、堀内地区、上山口地区での実施も検討することで、町内の小学校学区に準拠したバランスの良い支援体制を構築できます。また、公設公営や公設民営での開設も検討しましたが、ニーズに合致した形態での9年度開設の実現可能性を考慮した場合、民設民営（現在認可保育所として実施している場所での補助事業として実施）が現実的であると判断しました。

1 長柄地区：一般型（5日型）での実施

選定理由

- ・こども計画策定時のアンケートで、利用しない理由として「距離が遠い」「駐車場が少ない」等の意見が多数。
- ・陳情により拠点開設を強く待ち望む声が多い。（未就学児の人数が371人と最も多い。）
- ・既存施設「葉山にこにこ保育園」で既に独自に展開しており、その場所をそのまま使用することで実施可能。

2 堀内地区：連携型（3～4日型）での実施

選定理由

- ・小学校区バランスを考慮すると、実施が望ましい。
- ・既存施設「葉山ぎんのすず保育園」に子育て支援室・多目的室（計54.66㎡）があり、面積的には実施可能。

3 上山口地区：連携型（3～4日型）での実施

選定理由

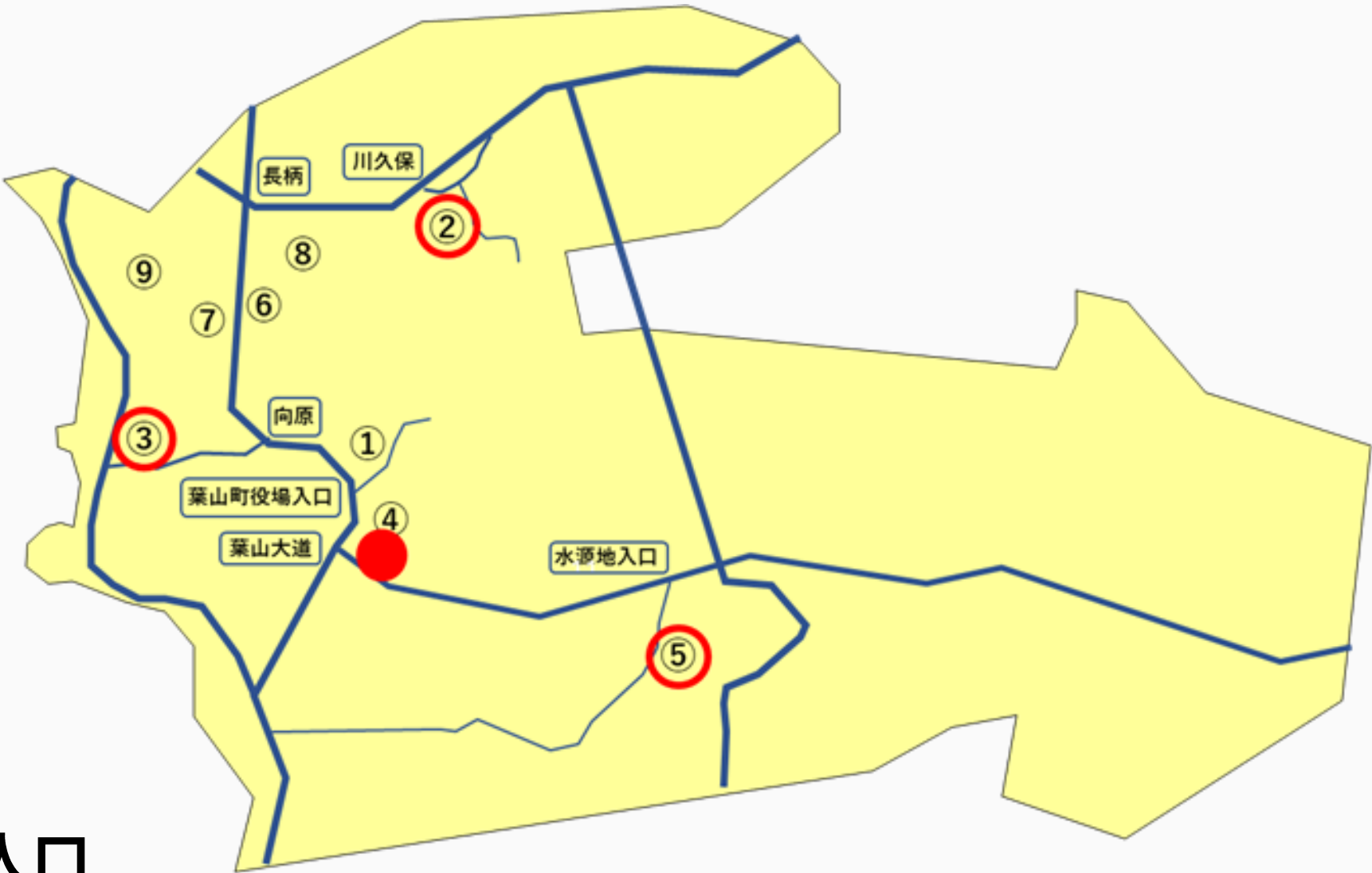
- ・小学校区バランスを考慮すると、実施が望ましい。
- ・上山口・木古庭地区の未就学児数は少ないものの、連携型で十分なニーズに対応可能。
- ・既存施設「風の子保育園」に2階会議室（34.78㎡）があり、面積的には実施可能。

新規拠点候補地の検討

1 町内認可保育所等の場所と新規拠点候補地

(7年度子ども子育て支援交付金基準額)				
施設名	実施形態		補助額	町1/3
①葉山保育園				
②葉山にこにこ保育園	一般型	5日型	9,023,000	3,009,000
③葉山ぎんのすず保育園	連携型	3～4日型	2,143,000	715,000
④おひさま保育室				
⑤風の子保育園	連携型	3～4日型	2,143,000	715,000
⑥芽ぐみ保育室				
⑦みんくいナーサリー				
⑧かもめと風保育園				
⑨明照幼稚園（保育利用）				
合計			13,309,000	4,439,000
●ぽけっと	一般型	5日型	13,544,000	4,516,000

基本分のほか、加算あり



2 アンケート調査時（R6.1.10時点）地区別未就学児人口

地区名	人数	地区名	人数
一色	364	木古庭	36
堀内	307	上山口	46
長柄	371	下山口	123
合計			1,247

開設スケジュール予定

令和 8 年

～ 6 月

開設方法の検討

7 月

先進自治体（横浜市）視察

9 月

教育民生常任委員会報告

10月～12月

令和 9 年度予算計上

11月

事業者募集

12月

事業者決定

令和 9 年

3 月

周知広報

4 月

事業開始